

関門航路〔南東水道地区〕潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路〔南東水道地区〕の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について（気象等の影響により若干変わる事があります。）

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻 (最大)	11・15工区	R2. 10中旬～R2. 12中旬	日の出～ 日没	4隻
	浚渫船	ドラグサクシオン式 浚渫船	1隻	11・15工区	R3. 2月上旬～R3. 4中旬	昼・夜	—

※予定期間の詳細又は変更については、関門航路事務所ホームページにてお知らせ致します。
(<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>)

2. 工事作業の場所……………南東水道地区(図-1参照)

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

- 潜水士船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。(図-2参照)
- 潜水士船1隻に1名の潜水士を投入します。
- 潜水士船には、国際信号旗「A旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3参照)
- 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船4隻(内1隻は国際VHF無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4参照)
- 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5参照)
- 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は航路外に退避します。また、航路中心部から南側で潜水探査を行う場合、1万GT以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。(視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上)

3-2 浚渫工事

- 国有ドラグサクシオン式浚渫船『海翔丸』にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。(図-6、7参照)
- 浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事であることを明示します。(図-8参照)

4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

<九州地方整備局 関門航路事務所>

潜水探査関係 : 建設管理班

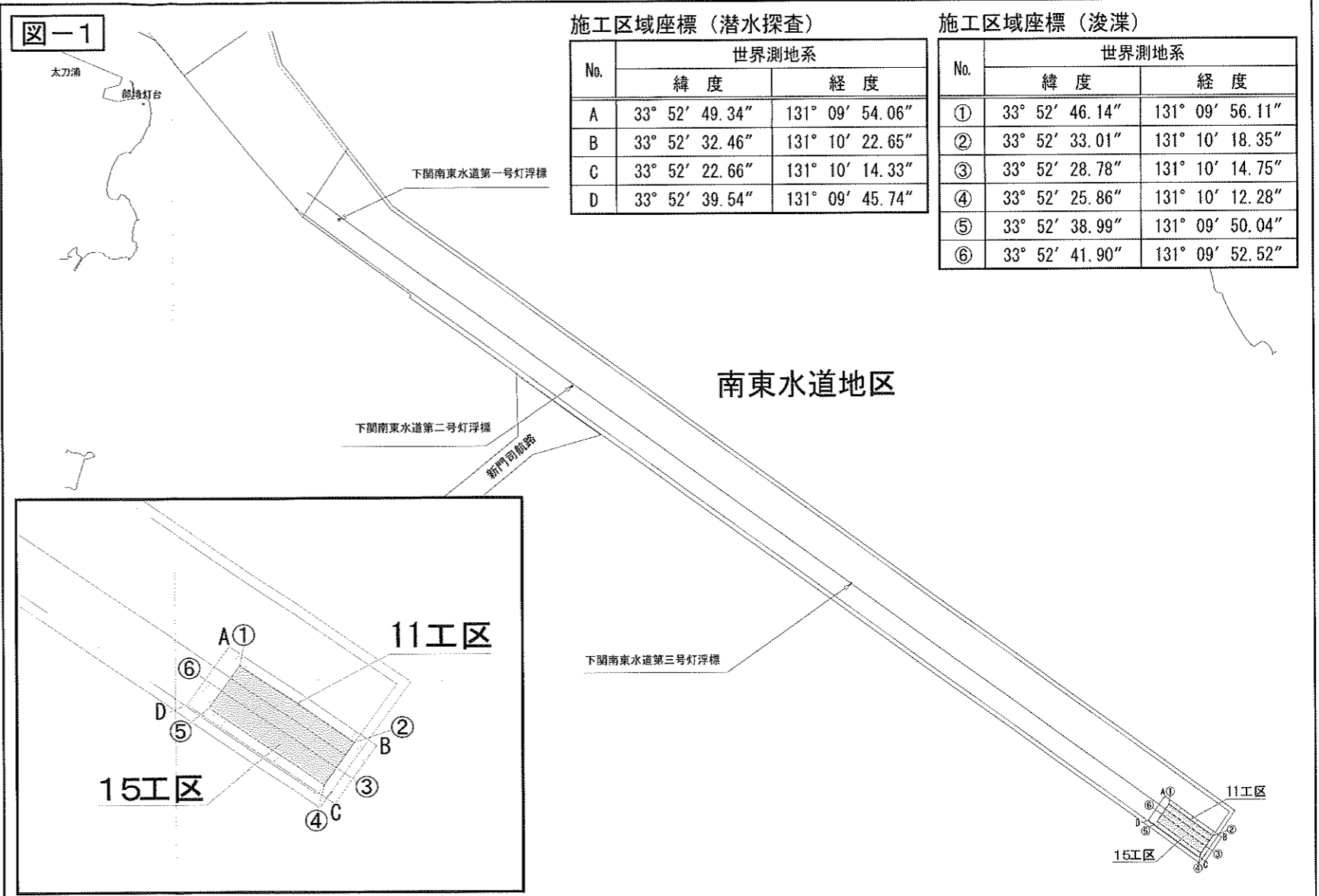
T E L 093-512-8098

F A X 093-512-8106

浚渫工事関係 : 海洋環境・防災課

T E L 093-512-8099

F A X 093-512-8106



施工区域座標 (潜水探査)

No.	世界測地系	
	緯度	経度
A	33° 52' 49.34"	131° 09' 54.06"
B	33° 52' 32.46"	131° 10' 22.65"
C	33° 52' 22.66"	131° 10' 14.33"
D	33° 52' 39.54"	131° 09' 45.74"

施工区域座標 (浚渫)

No.	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 52' 46.14"	131° 09' 56.11"
②	33° 52' 33.01"	131° 10' 18.35"
③	33° 52' 28.78"	131° 10' 14.75"
④	33° 52' 25.86"	131° 10' 12.28"
⑤	33° 52' 38.99"	131° 09' 50.04"
⑥	33° 52' 41.90"	131° 09' 52.52"

図-2 潜水探査作業船配置図

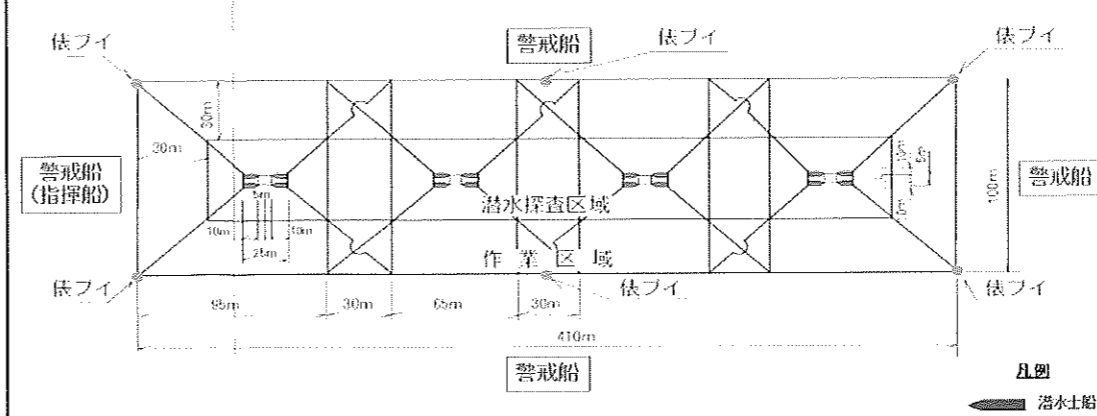


図-6 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図

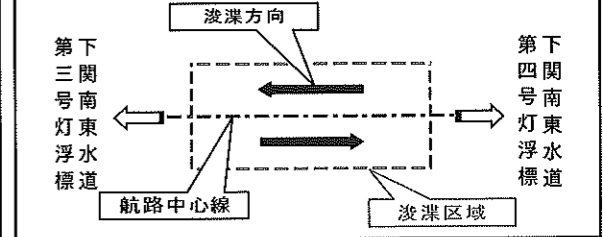


図-7 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図

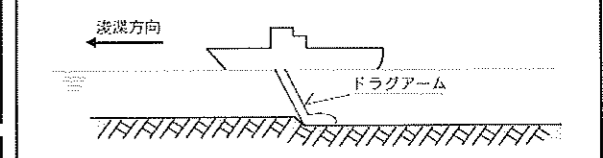


図-3 潜水士船の標識

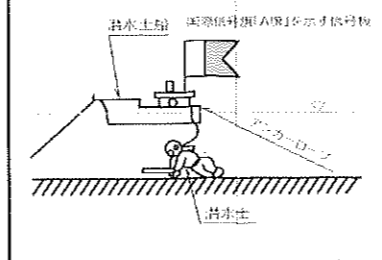


図-4 警戒船の標識

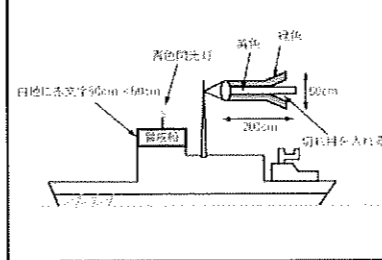


図-5 俵ブイ詳細図

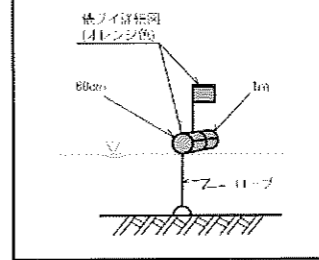


図-8 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物

